



# 中筋小学校だより

校訓 ～ 強い身体 正しい心 ～

舞鶴市立中筋小学校  
 学校だより 10月号  
 令和5年9月29日発行  
<http://nakasuji.maizuru.edumap.jp/>  
 ☎75-0372

学校HP



## 天高く 馬肥ゆる 秋

～ 実り多き秋 一段とたくましく ～



今年の暑さを考えたときに、果たしてこの暑さが緩み、涼しくなる季節がやってくるのだろうかと不安に感じてしまうほどの残暑が続いています。しかし、自然の摂理はそう簡単に変わることはなく、朝夕はめっきり涼しくなりました。学校周辺の景色も、夏から秋へ模様替えを進めています。田んぼの周りには「彼岸花」が競うかのように花を咲かせています。昨年度のこの号でも同じような内容を書かせていただきましたが、どんなに異常さを感じる気候であっても、日本の四季は、その時期が来れば、その季節に変化します。時に自然は人間に多大な災害をもたらしますが、それと同時に癒しもまた感じさせてくれます。金木犀の香りに鼻腔をくすぐられ、柔らかくさわやかな涼風が火照った体を冷やしてくれる。もう少し季節が進めば、色鮮やかに山々を彩り、日々の暮らしの中で疲弊する心に再生のエネルギーを与えてくれる壮大な景色を見せてくれます。“自然”からは、いつも自分で自分をよく知り、周りが少々乱れても、自分のすべきことを変わらずにやれる強さを感じます。

明後日からは10月になります。「天高く 馬肥ゆる 秋」（空は澄み渡って晴れ、馬が食欲を増し、肥えてたくましくなるほど過ぎしやすい秋を表現し、心身ともに快適に暮らせる秋の気候を意味します。）中筋っ子も多くの実りを自分のものにして一段とたくましく成長する姿を期待します。その一つがまさに運動会での子どもたちの姿です。今、学校は運動会に向けて、子どもも職員も一緒に汗をかき、共に素晴らしい運動会にしようという心で合せています。



中筋小学校の運動会の大きな特徴の一つが、「虹グループ」を基本にした色集団です。「虹グループ」とは、1～6年生までが一つの活動班を作り、年間を通じて交流します。各班の6年生がリーダーとなり、週1回の活動内容を考え、運営します。上級生は上級生らしく、下級生は下級生なりにお互いを思いやり、楽しく活動している様子は微笑ましく、本校の落ち着いた雰囲気源になっていると感じます。班をまとめる6年生の姿に“あこがれ”を感じ、「あんな6年生になりたい」「僕も6年生になったら、あんなふうになりたい。」とその姿が受け継がれています。運動会では、この「虹グループ」を基本に4色が構成されます。児童会種目も虹グループで力を合わせて一緒に競技します。運動会までの虹タイム（毎週水曜日の業間休み）では、児童会種目でどうやったら勝てるか、班で知恵を出し合って作戦を考えます。ただ勝つためではなく、班のみんなが楽しみながら勝てるように知恵を振り絞ります。本番では、勝ったら喜び合い、負けてもお互いを労い合います。優しい子どもたちの関係が育まれていることを実感します。

運動会まで1週間余りとなりました。子どもたち個々の頑張り、低・中・高学年の集団としての頑張り、虹グループの一員としての頑張り、全校が一つになって行う頑張り、様々な頑張りが散りばめられた本校の運動会にどうぞご期待ください。  
 校長 亀井 敬介 教職員一同

## ふっと自然に出る “一声” のぬくもり

あいさつは、人と人をつなぐ第1歩と言われ、学校でも口を酸っぱくして子どもたちに指導しているところですが、そのあいさつと同じくらい人と人との関係をぐっと深める一言というものはあるものです。

例えば、委員会の当番活動に勤しむ児童に、「お疲れ様」や「ご苦労様」、「ありがとう」と声をかけると、たったその一言を言われた児童は、笑顔になり、自分の行った活動を意気に感じ、どこか誇らしげな表情を見せてくれます。もちろんその子の頑張りをしっかり認める丁寧な言葉がけは必要ですが、すれ違いざまに言うその一言もとても大切な言葉だと感じます。

大人の社会でも同じことで、自分が任された仕事に取り組んでいるときややり終えた時の同僚の「お疲れ様」や「ご苦労様」の一言が、自然に出る職場はきっと居心地のよい、素敵な職場だろうと思います。子どもでも大人でも、お互いのことを認め、ねぎらうたった一言の言葉が、ふっと自然に出るそんな学校って素敵だなんて思います。家庭でも、宿題をやり終えた我が子にふっと「お疲れ様」という言葉、小さなことでも自分のためにしてくれたことに「ありがとう」の言葉、言われるのではなく、自然に言葉として出るそんな家庭は、誰にとっても居心地のよいものです。はじめは努めて言うことからのスタートかもしれませんが、「お疲れ様」「ご苦労様」「ありがとう」がふっと自然に言葉にされるそんな学校・家庭をつくりたいものです。